

平成30年度 基本事業評価シート (平成29年度実績評価)

政策 02 健やかに暮らせるまち
 施策 04 健康づくりの推進
 基本事業 04 感染症の予防・拡大防止
 主管課： 保健センター
 関係課： 学校教育課

1 基本事業の目的

対象 (誰, 何を対象としているか) 市民	意図 (どのような状態にしたいのか) 感染症の予防と啓発に努め、発生とまん延を防ぐ。
--------------------------	---

2 基本事業の成果状況 (意図の達成度を図る成果指標とその動向)

小児定期予防接種平均接種率 (年間) (%) 保健センター					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
86.10	108.50	118.05	90.00	90.00	90.00
向上指針	上がると良い	(状況) 昨年度と比較して9.55ポイント増加しています。 (原因) 乳児期の予防接種は、同時接種が進んでいるとともに、接種スケジュールを子育てモバイルや妊婦教室、新生児訪問などで周知していることや医療機関の接種スケジュールの個別指導により高い接種率になっていると考えられます。また、今回日本脳炎について標準接種時期よりも早く接種する人が大幅に増加したため100を超える接種率となっています。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

感染症年間流行状況 (麻しん) (件) 保健センター					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針	その他	(状況) 麻しんの感染症発生は継続してなく、目標値を達成しています (基準値比で増減なし)。 (原因) 全国的にも麻しん風しん予防接種の接種率向上により、流行予防に努めています。守谷市でも、個別通知と各健診や教室での周知、未接種者への接種勧奨で96%を超える高い接種率を維持し流行を防いでいます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

集団感染件数 (年間) (件) 保健センター					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
17.00	27.00	62.00	23.00	20.00	18.00
向上指針	下がると良い	(状況) 昨年度と比較して増加しています。インフルエンザ時期の集団感染による学級閉鎖の96%以上を小学校が占めていますが、2~4日程度で解消しています。 (原因) 感染予防意識や体力及び抵抗力の無い感染児童と未感染児童の学校での発症前接触が主な原因と考えられます。児童生徒への適切な手洗いの習慣づけと学校保健委員会や学校保健だよりを積極的に活用した保護者への早期感染防止啓発活動を行うことで、成果向上に繋がりたいと考えています。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

